

# ひまわりからの メッセージ

147号

2024. 2. 19

NPOひまわりの花内

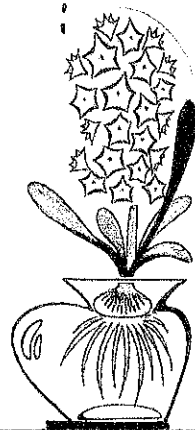
西濃圏域

発達障がい支援センター

発行人：中野たみ子

## 心浮きたつ

### 春の日に……



立春を過ぎ、今日(二月十日)は、先日の大雪は何だったのかしらと思う程の陽気です。私の母は生前に「早春賦」をよく口ずさみ、特に三番の「春と聞かねば知らざりしを聞けばせかるる胸の思いき……」という歌詞がとりわけ気に入っていたようでした。確かに春ということばの響きは、なぜか心浮き立つものがありますね。

ところで、私は心浮き立つ春というのに、最近老いを感じるようになりました。胸につけたフローラの鳥の名や花の名が吐嗟に思い出せないのです。子どもたちの中にも質問されてもすぐに言葉が出まじかに思わず手が出してしまうというようないふたもありますが、まさに語想起の弱さです。その上、頭の中では漢字の熟語が思い浮かんでくるのに、間違えた文字を書いてしまっていることもあります。先月号をお読み下

された方はお気づきとありますが、「結論」と書くべきなのに「決論」と書いていました。あとで気づいて赤面してしまいました。が、今後はこのようなミスが増えていくのでしよう。困ったことですが、これも自然のなりゆきなのでしょう。

そんな思いにひたっていましたら、連休の初日には世界的な指揮者の小澤征爾さんの訃報がとび込んできました。昔は毎年松本で開催される「サイトウキネンオーケストラ」を聴きに出かけたものでした。このオーケストラは桐朋学園大学の創設者の一人であった故齋藤秀雄教授の教え子たちが世界中から集まってきました。演奏会を開いたのです。指揮はもちろん小澤さんでした。私の連れあいの勤めていた会社は、本社が松本で協賛もしていましたので我が家の応接間には若かりし頃のパネルが飾ってあります。

演奏会のチケットを手に入れるのは大変でしたが、一年に一度のに行った時には、小澤さんは車椅子で登壇し、立つて指揮をし、一曲終わると椅子に座り……という状況でしたが、その姿からは、いつまでも高みを目ざし続ける気迫が感じられ、胸を打たれました。老いは誰の身にも訪れてきますけれど、私は私なりに老いに向き合い、学びつづけていきたいものだと思います。

庭先でクリスマスローズが咲きはじめました。白い花よりも先に赤紫のつぼみが開いています。今年もまた元気にこの花に出会えたことを喜びとして、年度末を乗りきっていきたいものです。

# あなたは人生に

## 感謝ができませんか？



ドイツ出身の精神分析家で、エリク・H・エリクソンという人がいます。彼は、子どもの心の治療に従事していました。後に「ライフサイクル・モデル」という理論を確立しました。人生を八期に分けて、それぞれのテーマを設定し、その時期その時期に、きちんと順序を遡って発達し、成熟していくことが大切だと説きました。

エリクソンのライフサイクル・モデルについて分かりやすく書いてあるのが、あなたは人生に感謝できますか？という本です。著者は、自閉症のTEACCH(ティーチ)プログラムを日本に紹介した佐々木正美さんです。今回、かいつまんで紹介します。

エリクソンは、人生を乳児期、幼児期、児童期、学童期、思春期、青年期、成人期、壮年期、老年期の八期に分け、それぞれの期には順序性がある飛躍することはできないと考えています。私達は「発達課題」ということを使いますが、エリクソンは、クライシスと言っています。つまり、各年代にはテーマがあり、それを成就しないと、クライシス(危機的な状況)が訪れるということなのです。順序をとばした発達というのは、単に見せかけの前進にすぎず、思春期にあらわれている問題は、実は幼

児期や乳児期の問題が思春期になって現れてきたと考えられるということなのです。思い当たることがありますよね。

### ① 乳児期……基本的信頼の獲得(0〜2歳)

エリクソンは、乳児期に人を信じるのが、その後の人生で人を信じ自分を信じることの基礎を作ると考えます。赤ちゃんにとって最初に信頼を寄せる相手は母、もしくは母的存在ということになります。愛着関係ということにはよく知られていますが、赤ちゃんに対する無償の愛ということになるでしょう。見つめ合い、ほほえみ合い、喜びを共感していくことが、悲しみや苦しみ、痛みなどの感情を他者と分かち合う力になっていきます。赤ちゃんが独歩できるようになり、探索活動を始めます。でも勝手に動いているのではなく、ママを見返り、「見守ってくれている？」と確かめています。人は成長するにつれて社会のルール、規範、規律、約束事などに敏感に反応しながら行動していくのですが、他者を見て社会的なものに参照して学びとっていく社会性の基礎がこの時期に芽生えるのだといわれます。

非行に走った少年少女の生い立ちを調べたエムティという学者は、生後六ヶ月〜一歳半の時期の見守りと喜び合いの少なさを指摘しています。社会性の発達に関して、その時期のクライシスを取り戻すには育て直しが必要なのだと言

われます。それには母と子の会話、両親との会話が必要なのだと書かれています。

## ② 幼児期……自律性を身につける (二歳〜四歳)

自律性というのは、自分で自分の衝動を律するということ、いわゆるセルフコントロールです。この本には、園では良い子で家でだっ子なのは、家庭が安心できる場だからだと書いてあります。家では良い子だけれど園では大変という子は、家庭で信頼関係が築けていないのです。しつけは大人の文化を子どもに教えていくことですが、信頼がなければしつけは出来ないのです。園という幼い子どもたちの社会の中でルールが守れない子は、その前の家庭の段階の基本的信頼を作るところから始めないといけないことになります。考えさせられます。

この時期、自律性を身につけさせるためには「待つ」ことの大切さも書かれています。「早く、早く」と急かせたり、「がんばれ」と励ますのではなく、子どもが自分でできるまで待つことが大切だといわれます。そして、暴力やいじめに走る子の多くが、幼児期の自律性を身につけていなかったと考えられています。

## ③ 児童期……自主性をはぐくむ (四歳〜七歳)

この時期の子どもにとって一番大切なのは遊びです。本来、遊びは、子どもたち自身が考え、色々な道具を別のもの

のに見た目で想像力をはぐくんでいくものですが、最近の子どもたちは、大人の介入がないと遊べない子が増えたと聞きます。大人が危いかうと言った子どもたちに市販のおもちゃを与えるだけでは、自分で考えることも工夫も失敗を乗り越える力も育ちません。十代や二十代になって、やりたいことが見つからない、目的がもてないという場合は、この時期の生き直しが必要だと書かれています。大人になってからは大変だけれど、創造力や想像力を使う活動をして自分に出来ないことに取り組み、失敗や挫折しながら工夫を学んでいくしかないということです。

## ④ 学童期……勤勉性の基礎づくり (七〜十二歳)

この時期は小学生の時期です。この時期のすぐれ方が大人になった時、社会的に勤勉に生きていくことができます。かどうかの重要なポイントになると書かれています。そして勤勉性は勉強よりも人間関係によって育つものなので、自分とタイプの違う友だちを数多く作ることを推奨しています。授業の落ちこぼれは社会人としての落ちこぼれにはならないが、休み時間の落ちこぼれは社会

人としての落ちこぼれに直結するとまで書かれていて、先生  
方に、休み時間のすしおに目を向けてほしいと言われている  
のです。大人からではなく、友だちから学ぶことがこの時期の  
子どもたちにとって大切だということでしょう。

社会に出て「会社があわないからやめる」「自分にあうは  
事ではなかった」「会社が悪い」と言ってもやめていく人の中には  
この時期や、それ以前の時期のつまづきが原因であるこ  
とが多いようです。「会社があわない」ということは、本当は、  
会社で健全な人間関係が築けないということなのです。  
知識はある、意欲もある、まじめだけれど、学童期に本  
当の意味で学び合う経験を積んでいないと書かれています  
ました。

……では、自閉症の人は？、発達障害の人は？、

この本は、さすがに、佐々木正美さんの著作でした。一般  
論としてエリクソンのライフサイクル・モデルの中に例外的  
な話として自閉症の子の話が入れてありました。アメリカ  
ノースカロライナ大学の自閉症療育の専門家であるゲー  
リー・メジボフ教授の話として「自閉症の人は自閉症の文  
化をもっている。私たちとは違う文化をもっている。違うか  
らといって差別や排除をしてはいけない。文化の違いを認識  
しなければ、この人たちを適切に養育も教育も支援も

できない」と書かれていました。

私たちは、皆と同じに出来ることを求めすぎている  
ではないか。たぐさんの友達と遊ぶことよりも、理解のあ  
る少数の友達の中で自分のペースで活動することの方が  
社会的に適応できる子どもも違っているのですよね。

⑤ 思春期・青年期……アイデンティティ  
自分自身を客観的に見ることできる

⑥ 成人期……周囲の人との親密性・連帯性  
自己愛が強すぎると孤立、孤独になってしまう。

⑦ 壮年期……先人に学び後進に托す

⑧ 老年期……人生のしめくくり

紙面の都合で⑤⑧の記述を省略しましたが、私た  
ち一人ひとりが、この八段階のテーマをどのように乗り越  
え、最後に感謝の日を迎えられるのか、また①④ま  
では子育て中の方にとって子育てを見直す一助になれば  
と考えています。

### <お知らせ>

3/6 ヒアサポート

3/11 センター親の会

3/23 家族会

4/15 センター親の会

4/17 ヒアサポート

4/27 家族会

